

日本社会保障法学会会報 第21号

発行日：2006.9.1 発行人：井上英夫 編集人：木下秀雄 発行：日本社会保障法学会
事務局住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学法学部気付
Tel/Fax：06-6605-2322 E-mail：social@law.osaka-cu.ac.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/index.html 会員数：629名（2006年9月1日現在）

第50回秋季大会開催案内 事務局長 木下秀雄（大阪市立大学）

日本社会保障法学会第50回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

・日 時：2006年10月14日（土） 9：30～17：00

・会 場：南山大学（〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

総会・シンポジウム会場：名古屋キャンパスG棟28教室

・お問い合わせ先 Tel：052（832）3111（代表）

・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください）

受付開始・・9:00
開会・・9:30

個別報告

○玉川 淳（三重大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30
「公費負担医療における当事者関係
—強制的な入院の確保と患者の同意の意義—
司会：西村健一郎（京都大学）」

特別講演「社会保障法学と私」

○桑原洋子（四天王寺国際仏教大学）・・・・・・・・・・・・・・・・10:40～11:00

総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:00～11:30

開催校挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:30～11:40

休憩（昼食）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:40～12:40

共通テーマ・シンポジウム

「社会保障の法と政策—学際的な検討に向けて—」

司会：秋元美世（東洋大学）
岩村正彦（東京大学）

・「企画の趣旨」（井上英夫・日本社会保障法学会代表理事）……………12:40～12:50

○岩田正美（日本女子大学）……………12:50～13:20
『社会保障の一体的見直し』とナショナル・ミニマムをめぐって」

○神野直彦（東京大学）……………13:20～13:50
「財政学の立場から——体系だった社会保障改革に向けて」

○辻 哲夫（厚生労働省）……………13:50～14:20
「社会保障政策の現状と課題—近年のサービスの政策体系の動きを中心に—」

○棟居快行（大阪大学）……………14:20～14:50
「社会保障法学と憲法学—具体と抽象の間で—」

○井上英夫（金沢大学）……………14:50～15:20
「社会保障の法と政策—社会保障法学の立場から—」

休憩……………15:20～15:35

○シンポジウム……………15:35～17:00

大会終了……………17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2006年9月30日（土）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付前にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付前にて懇親会券を購入してください。

※本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 秋元美世（東洋大学）

本年度の秋季大会は、10月14日に南山大学で行われます（具体的な内用等については本会報大会次第をご覧ください）。

今回の大会で、日本社会保障法学会も50回という節目の大会を迎えることになりました。それを記念して今回の大会では、従来の大会とはやや趣を変えて、社会保障法の関連領域でご活躍されている学会外の方々をお招きして記念シンポジウム（「社会保障の法と政策—学際的な検討に向けて—」）を開催することにいたしました。お招きする方たちは、岩田正美日本女子大学教授（社会福祉学）、神野直彦東京大学教授（財政学）、辻哲夫厚生労働事務次官（社会保障政策）、棟居快行大阪大学教授（憲法学）＜報告順＞の先生方です。当日は、社会保障法学が課題としている法や政策にかかわる諸問題が、他の領域ではどのように扱われているのかなど、社会保障法学会としても関心の深い事柄が多彩に論じられるものと思われま。ご期待下さい。なお、個別報告に

つきましては、従来どおりのかたちで午前中に実施いたします。こちらの方も是非ご参加下さい。また、次回51回大会については、「『若者』をめぐる問題と社会保障」（仮題）というテーマで、木下秀雄会員、脇田滋会員を中心に準備が進められています。

個別報告については報告者を随時募集しております。個別報告を希望する会員は、理事または企画委員にお申し出下さい。個別報告をしていただく場合には、本学会の会員を中心に組織された各地の研究会で準備報告をしていただくことになっております。地域的に組織立った研究会がない場合にも、企画委員会から最寄りの研究会をご紹介しますので、遠慮なくご相談ください。

（若手会員の文献リストに関して）

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるため、若手会員の文献リストを作成し、会報の紙面を利用して公表しております。従来、若手会員としては、40歳未満という区切り方をしてきましたが、近年、社会人経験を経てあらためて大学院に入り研究者としてのキャリアを形成する人たちも増えており、年齢だけで区切ることが必ずしも適切ではない場合も見られるようになりました。そこで、募集対象として、「大学院入学後10年未満の者」という条件を付け加えることにいたしました。

40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員で、2006年1月以降に発表された論文や著書がありましたら、現物またはコピーを下記の企画委員長宛にお送りください（なおそれ以前のもので、前号会報の文献リストに掲載されていないもの——ただし、2005年1月以降のもの——であれば構いませんのでお送り下さい）。なお、お送りいただいた論文や著書の現物およびコピーは返却いたしません。

〒112-8608 東京都文京区白山5-28-20
東洋大学社会学部 秋元美世 宛

○若手会員文献リスト（2006年8月現在のもの、著者五十音順）

著者	題目	出典	発行年月
佐藤みゆき	介護保険サービス利用契約の法的性質 —「福祉契約論」を見据えて—	北海学園大学大学院 『法学研究科論集』第 7号	2006年3 月
葛西まゆこ	「日本型福祉社会」と個人の自律	日本法政学会50周年 記念『現代法律学の課 題』	2006年3 月
古畑 淳	判例研究・園長の虐待による幼児の死亡 と無認可保育施設に対する知事の監督責 任	『季刊教育法』第14 8号	2006年3 月

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 秋元美世（東洋大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第22号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要項は、先の会報でお知らせしましたが、念のため、再度掲載いたしておきます。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、編集委員会で決定します。
- 4 採用に当たっては、より一層に内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、12,000字（200字詰め原稿用紙60枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求して下さい。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現は避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用して下さい。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含めて3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締切は2006年9月末日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学法学部気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 加藤智章（新潟大学）

学会誌22号の原稿締切は、例年通り、12月20日です。関係する会員の皆様には締め切り厳守をお願い致します。49回春季大会で御報告いただいた皆様には、執筆要領を配布していると思っております。50回秋季大会でご報告予定の皆様には、執筆要領を学会時に配布する予定です。よろしくお申し上げます。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2006年度6月定例理事会

- ・日時：2006年6月2日（金）16:00～18:00
 - ・場所：岩手大学人文社会科学部1号館2階第2会議室
 - ・議事内容
- ①第49回春季大会の運営について（略）
 - ②第50回秋季大会の運営について（略）
 - ③第51回春季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌編集委員会より
加藤編集委員長より、学会誌第21号が刊行された旨の報告。
 - ⑤国際交流委員会より
林国際交流委員長より、英文パンフレット、学会ロゴについての報告。
 - ⑥学会誌投稿論文について
秋元企画委員長より、学会誌投稿論文規定についての報告。
 - ⑦日本学術会議関連の動きについて

連携会員の井上理事より、連携会員候補者の推薦についての報告。

⑧ 2005年度決算、2006年度予算報告について

脇田会計担当理事より、2005年度決算、2006年度予算の報告。

⑨ 入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

○2006年度7月定例理事会

・日時：2006年7月22日（土）16：00～18：00

・場所：早稲田大学西早稲田キャンパス9号館5階第1会議室

・議事内容

① 第50回春季大会の運営について（略）

② 第51回秋季大会の運営について（略）

③ 第52回春季大会以降の運営について（略）

④ 学会誌編集委員会より

加藤編集委員長より、学会誌投稿論文等についての報告。

⑤ 国際交流委員会より

林国際交流委員長より、英文パンフレットについての報告。

⑥ 日本学術会議関連の動きについて

連携会員の井上理事より、最近の日本学術会議の動きについて報告。

⑦ 第13期理事・監事選挙について

木下事務局長より、第13期理事・監事選挙の実施要項と選管委員についての報告。

⑧ 学会事務局の移転について

木下事務局長より、年内に学会事務局を熊本県立大学に移転する旨の報告。

⑨ 入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○長期滞納者の退会処理について

2006年6月の理事会において、次のことが決定されました。学会規約第7条「会員は、総会の定めるところにより、会費を納めなければならない。会費を滞納したものは、理事会において、退会したものとみなすことができる」との規定に基づき、3年度分以上滞納した会員については、理事会での議論を踏まえて、会費納入の督促を行い、それでも会費の納入がない場合には退会者とみなすこととなりました。会員各位のご了解とご協力を宜しくお願いいたします。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第50回秋季大会は、2007年5月19日（土）法政大学にて開催される予定です。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

入退会者紹介

日本社会保障法学会事務局

- ・ 2006年6月2日、7月22日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。

(順不同、敬称略)

内海和久 (財団法人ひかり協会)

緒方裕子 (熊本赤十字病院)

佐柳忠晴 (東京都福祉保健局)

小野けさよ (熊本学園大院)

漆原克文 (川崎医療福祉大)

佐藤仁之 (静岡英和学院大)

常森祐介 (早稲田大院)

坂口昌宏 (熊本県立大院)

畑中洋子 (中央大院)

稲葉光彦 (富士常葉大)

板東一仁 (兵庫県西宮子ども家庭センター)

大野勇吾 (岐阜県健康福祉部高齢福祉課)

- ・ 2006年6月2日、7月22日の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。

(順不同、敬称略)

辻村一郎、佐藤あずさ、斎藤真理、許斐有、長谷部辰夫、又坂常人、孟守錫、山本克郎、金政玉、上村雄一、藤川恵子、木村愛子、竹崎孜、渡寛基、宮本悟